



沖縄キリスト教平和総合研究所

ニューズレター 第6号 2021年3月

「沖縄」「キリスト」「平和」に拘る研究所

所長 内間清晴

日本国土で唯一の地上戦となった沖縄戦では、県民の 1/4 から 1/3 の尊い命が失われ、焦土化した沖縄の復興には多くの方々の苦勞がありました。「唐の世から大和世、大和世からアメリカ世、ひるまさ変わたる くぬうちなー」と歌われているように、薩摩に侵略され、廃藩置県により日本へ併合され、沖縄戦という生き地獄を体験し、敗戦後は米軍支配を経て、1972年には県民の悲願であった祖国復帰を果たしました。しかし、今尚、日本の国土面積の 0.6%にすぎない沖縄県に約 70%の米軍基地が存在し、基地があるが故に起きる事件事故があとを経たず、県民の意思とは裏腹に辺野古新基地建設が断行される状況が続き、沖縄は平和憲法の下に帰ったとは言えない状況です。

歴史に翻弄され、鉄の暴風と形容された砲弾で焦土化した沖縄の地から世界へ向けて平和を訴え発信してゆく人材を育むため「平和を実現する人」(マタイ 5:9)と、「隣人へ奉仕する」(マタイ 20:28)人材の育成を建学の精神とし、沖縄キリスト教団(現日本キリスト教団沖縄教区)が設立母体となり、沖縄キリスト教学院は 1957年に首里教会の礼拝堂を教室としてスタートしました。それに至るまでには、初代理事長・学長の仲里朝章氏が那覇商業学校校長時代に積極的に皇民化教育を行い、教え子達を戦場に送り込んだという深い反省と、戦禍で精神的支柱を喪失し希望を失った若者達に、復活のキリストを光として新たな生き方を歩んで欲しいという沖縄のキリスト者の祈りと支援がありました。

当研究所は、前述の建学の精神を積極的に具現化して行く拠点として 2009年 10月に開所し爾来積極的な活動を展開してきました。2010年より「戦後沖縄における教会の歩みと回顧-苦難の中での平和への願い」をテーマとした連続講座(8シリーズ)や、慰霊の日特別講演会を行った他、2019年 9月にはペシャワール会現地代表であられた故中村哲医師を講師にお迎えし設立 10周年記念講演会を行いました。また、学生活動としては、TEAM 琉球の学生達を中心となった県外からの中高校修学旅行生への平和ガイド、2013年より毎年夏に「キリスト教を土台として沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い」があります。学び合いには、これまでに全国 20大学からの参加者がいます。2019年 12月にはこれまでの活動が評価され、「第1回ちゅらうちなー草の根平和貢献賞」を受賞いたしました。

これからも、この地でキリストに光を見出し、平和を発信する研究所として、「キリスト」「沖縄」「平和」に拘る研究所として歩み続けて参ります。

(目次)

巻頭言

研究所設立の経緯

発行書籍

「連続講座講演録
Ⅲ~Ⅳ」

「連続講座講演録
Ⅳ~Ⅴ」

学生活動・石垣島研修

これまでの活動

慈しみとまことは出会い

正義と平和は口づなし

まことは地から萌えいで

正義は天から注がれます。

(詩編 85:11-12)

学校法人

沖縄キリスト教学院

沖縄キリスト教平和総合研究所

〒903-0207

沖縄県中頭郡西原町字
翁長 777 番地

TEL.098-946-1279

FAX.098-946-1312

<http://www.ocjc.ac.jp>

E-mail:ocpi@ocjc.ac.jp

当研究所設立の経緯

山里勝一牧師の講演より

1959年～1960年。米国教会協議会 NCCUSA 在外軍人のための憩いの場、サービスマンズセンターが設立された。ところが1975年にベトナム戦争が米国の敗北で終わり、兵士のためのホームアウェイフロムホームと呼ばれたサービスマンズセンターの運営についても、米国教会協議会の海外兵士委員会も方針を打ち出せない中で、大城実牧師や数名の牧師たちと協議を重ねた結果、米軍兵士のためのセンターではなく、沖縄と沖縄人のために仕えるセンターに生まれ変わるべきであると考えた。

そのための教会協議会が計画され、1980年に日本、韓国、米国、中南米各国から研究者や教会関係者を招いて協議を重ねた。その結果、平和研究所こそが必要な施設であり、キリスト教大学内に併設すべきとの結論が与えられた。

そのためのステップとしてまず沖縄キリスト教平和センターを設立し、日本キリスト教団、聖公会、沖縄バプテスト連盟をもって運営委員会を構成した。事務所はぎのわんセミナーハウス(沖縄キリスト教センター)に置かれた。

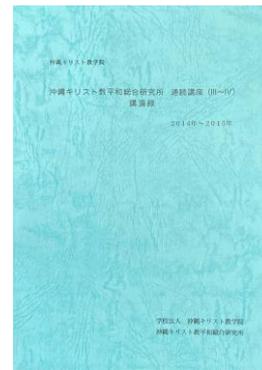
活動は年間数回の講演会、米国、台湾、フィリピンなどへの研修旅行、米国、ドイツ、フィリピンからのインターン生、研修生を受け入れ、自由にリサーチをしてもらってレポートを提出してもらった。

並行してキャロリン・フランシス宣教師と元宜野湾市長(現参議院議員)の伊波洋一氏とが数年にわたってニューズレターを定期的に外国や国内の関係機関に発送して、大いに好評を博した。

こうした活動が前段階としてあって、沖縄キリスト教学院のシャローム会館完成と、平和研究所の開設に伴い、平和センターの働きをすべからく平和研究所に移すことを決定した。それによって平和をつくり出す作業の継続を願ってのことだった。

研究所発行書籍紹介

連続講座講演録(Ⅲ～Ⅳ)



巻頭言： 内間清晴 (所長)

當山正堅の光と影：川平朝清

照屋寛範牧師の思想と足跡：饒平名長秀

(神愛バプテスト教会牧師)

1960年～1970年代における沖縄の教会の平和活動

①：平良修

1960年～1970年代における沖縄の教会の平和活動

②：平良修

へーそうだったのか 沖縄・琉球と仏教

～一人の仏教徒の視点から～：長谷 暢

第1回 仏教・浄土真宗って何だろう

～信心(信仰)と習俗～

第2回 琉球と仏教の深～い関係

～仏教の興隆と衰退～

第3回 幸せを願った遊女たち

～琉球における浄土真宗の歴史～





巻頭言： 内間清晴（所長）

戦後の政党政治史：仲本安一（元沖縄社会大衆党委員長）

戦後の教会体験：神山繁實（本学元理事長）

戦後の社会福祉概観 ～島マスの働きと島マス記念塾の歩みを中心に～(1)

戦後の社会福祉概観～島マスの働きと島マス記念塾の歩みを中心に～(2)

戦後の社会福祉概観～島マスの働きと島マス記念塾の歩みを中心に～(3)

名嘉隆一（愛隣園理事長）

基地のない沖縄を目指す宗教者の集い：

谷大ニ（カトリック名誉司教）

明治以降、敗戦までの日本国家の宗教政策：

岡田弘隆

（真言宗豊山派沖縄山 城間院 長谷寺住職）

沖縄戦で学んだこと：

大城 実（前沖縄キリスト教平和研究所所長）

学生活動

石垣島をめぐる平和研修 2020年3月17日～20日

<研修のねらい>

- 沖縄島とは事情がかなり異なる八重山、特に石垣島の沖縄戦（戦争マラリア）を学ぶ。
- 戦後の開拓団入植について学ぶ。
- 戦後の開拓においても最大の脅威はマラリアだった。マラリア被害とその克服について学ぶ。
- 台湾からの入植者がもたらした恩恵、彼らに対する加害、そして和解の活動について学ぶ。
- 石垣島への自衛隊配備問題について学ぶ。
- 石垣島の歴史・自然に触れる。

3月17日（火）

八重山キリシタン事件殉教の地碑

八重山島蔵元跡

人頭税廃止百年記念碑

登野城小学校「御真影奉安殿」跡

唐人墓

観音崎展望台

嘉善姓一門の墓（石垣永将が洗礼を受けた地）

オヤケアカハチ像と記念碑

津波大石

大浜海岸銃眼跡

宮良橋と仲尾次政隆の頌徳碑

明和大津波遭難者慰霊之塔

しらほサンゴ村



3月18日(水)

仲間満慶山なかまみつけーま終焉の地碑
川平湾海軍特攻艇秘匿壕群
オグデン道路感謝記念碑
ヨーンの道
川平湾
川平・平和の塔
崎枝開拓団入植記念碑
御神崎
電信屋跡
玉取崎展望台
伊野田入植記念碑
星野入植記念碑
講話と協議

早稲田大学大隈講堂を模した大濱信泉(第7代早稲田大学総長)記念館で、若い石垣市議の内原英聡さん、そして石垣市民投票運動の中心で頑張っている1人の宮良真奈美さんからお話を伺った。



3月19日(木)

八重山平和祈念館
バナナ公園にある八重山戦争マラリア犠牲者慰霊碑
軍の命令で住民が強制避難させられた行き先の白水地区
名蔵ダム
台湾農業者入植顕彰碑
大同拓殖跡
於茂登入植地
船越漁港
伊原間のアカフチ
久松五勇士上陸の地碑
明石開拓の碑

3月20日(金)

新栄公園(憲法9条の碑、世界平和の鐘など)
伊舎堂中佐顕彰碑
尖閣諸島開拓記念碑
やいま村
渡り鳥観測所
フルストバル遺跡

【これまでの活動】

2014年以降

2014年

◆主催講演会

憲法講演会 6月20日(金)

「沖縄における人権～憲法・基地・平和」

講師：永吉盛元氏(弁護士)

連続講座Ⅲ

10月14日(火)「當山正堅の光と影」

講師：川平朝清氏(昭和女子大学副理事長)

11月11日(火)「照屋寛範牧師の思想と足跡」

講師：饒平名長秀氏(神愛バプテスト教会牧師)

1月20日(火)「戦後の教会体験」

講師：神山繁實氏(本学理事長)

◆刊行

連続講座Ⅱ 講演録 (2012年4月～10月)



◆学生活動

○知念優幸君・全国一人旅支援

TEAM 琉球の知念君が 2014 年度に一年間、全国を一人旅し沖縄の状況を講演してきた。

○近江兄弟社学園中学 修学旅行生への講演と戦跡ガイド 2月11日(水)

チャペルで大城所長の講演

TEAM 琉球の学生 10 名による戦跡ガイド

○大谷大学(京都)の福島ゼミ研修 2月17日(火)

TEAM 琉球の学生 4 名による戦跡・基地ガイドと交流

○TEAM 琉球・伊江島研修 3月19日～21日

○本学同窓会で活動報告会 6月27日

○第 2 回キリスト教を土台として沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い 9月8日～13日



2015 年

◆主催講演会

連続講座Ⅳ・特別講演会

6月25日(木) 特別講演会

「基地のない沖縄を目指す宗教者の集い」

講師：谷大二(カトリック沖縄教区司祭)

7月21日(火) 特別講演会

「一神教から見る現代世界：ユダヤ教、キリスト教、イスラーム」

講師：加藤哲平(特別研究員)

7月23日(木) 加藤哲平氏によるワークショップ

「日本人とユダヤ人・流氓ユダヤ、杉原千畝、小辻節三」

10月23日(金)特別講演会

「明治以降、敗戦までの日本政府の宗教政策」

講師：岡田弘隆氏(真言宗長谷寺住職)

6月9日(火)「戦後の政党政治史」

講師：仲本安一氏(元沖縄社会大衆党委員長)

7月28日(火)「1960年～1970年代の沖縄における教会の平和活動」①

講師：平良修氏(沖縄キリスト教短大元学長)

8月11日(火)「沖縄・琉球と仏教」

① 仏教・浄土真宗って何だろう～信心と習俗」

講師：長谷暢氏(東本願寺沖縄別院僧侶)

9月10日(木)、17日(木)、24日(木) 計3回

「戦後の社会福祉概観～島マスの働きと島マス記念塾の歩みを中心に～」

講師：名嘉隆一氏(愛隣園理事長)

10月6日(火)「沖縄における教会の平和活動」②

講師：平良修氏

10月13日(火)「仏教の興隆と衰退」

講師：長谷暢氏(東本願寺沖縄別院僧侶)

11月10日(火)「琉球における浄土真宗の歴史」

講師：長谷暢氏(東本願寺沖縄別院僧侶)

11月23日(金)特別講演会

「和解と平和構築」

講師：佐々木和之氏(ルワンダ PIASS 大学教員)

石原明子氏(熊本大学准教授)

◆学生活動

○第 3 回キリスト教を土台として沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い 8月31日～9月3日

○近江兄弟社学園中学 修学旅行生への講演と戦跡

ガイド 2月10日(水)

チャペルで大城所長の講演

TEAM 琉球の学生10名による戦跡ガイド



玉那覇正信(牧師)

特別講演会 10月9日(日)午後3時 「沖縄の経済と子供の貧困」

講師：富川盛武(沖縄国際大学名誉教授)

沖縄キリスト教協議会と共催

連続講座Vシリーズ第3回 10月18日(火)午後7時 「戦前戦後のカトリック」

講師：谷 大二(カトリック沖縄教区司祭)

連続講座Vシリーズ第4回 11月15日(火)午後7時 「ボリビアに遣わされて」

講師：山里勝一(日本キリスト教団沖縄教区牧師)

旭川藤女子高校修学旅行生への講演 11月17日(木)午後3時

講師：大城実所長

2016年

◆主催講演会

連続講座V・特別講演会

6月17日(金)慰霊の日特別講演会

「一軍国少年の沖縄戦とその後」

講師：大城実所長

7月19日(火)「集団自決を心に刻んで」

講師：金城重明氏(本学名誉教授)

9月20日(火)連続講座Vシリーズ第2回 講師

師：石原絹子「戦場の十字架」

緊急学習会 10月4日(火)午後7時 「辺野古高裁判決の意味と、緊迫する高江の行方」

講師：北上田毅(平和市民連絡会)

辺野古新基地を造らせない島ぐるみ宗教者の会と共催

特別講演会 10月8日(土)午後5時 「琉球諸語復興のための言語計画」

講師：新垣友子(本学准教授)、島袋純(琉大教授)、

◆学生活動

○TEAM 琉球・宮古島研修 3月30日～4月1日

○TEAM 琉球・フィールドワーク 読谷村戦跡

○第4回キリスト教を土台として沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い

8月29日(月)～9月1日(木)

2017年

◆主催講演会

連続講座VI・特別講演会

第1回 6月20日(火)午後7時

「戦後のカトリックの歩み」～私が沖縄で生きてきたこと～

講師：ラサール・パーソンズ氏(カトリック文化センター長)

この講座には山形県の基督教独立学園の修学旅行生30名が参加。

第2回 8月24日(木)午後7時

「生きる喜びを奪ったもの」～ハンセン病問題を考える～

講師：長谷暢氏(真宗大谷派僧侶、ハンセン病問題ネットワーク沖縄・事務局)

平良仁雄氏(ハンセン病回復者、ハンセン病問題ネットワーク沖縄共同代表)

平和研究所主催の「学び合い」のプログラムの一環としても位置付ける。



第3回 10月17日(火)午後7時

「愛隣園の歴史」

講師：仲宗根岩雄(愛隣園園長)

特別講演会

9月14日(木)午後7時

「パレスチナ占領50年をアミラ・ハスと考える」

講師：アミラ・ハス氏(イスラエルの日刊紙「ハアレツ」のコラムニスト)

著書『パレスチナから報告します』—占領地の住民となって— 2005年 筑摩書房

共催：アミラ・ハス氏来日実行委員会

協力：沖縄教区宣教部、沖縄YWCA

◆学生活動

第5回「キリスト教を土台として沖縄・長崎・広島から平和を考える旅」

8月23日(水)～26日(土)

現地研修 3月28日～30 石垣島研修

2018年

2018年4月より沖縄キリスト教平和総合研究所と改称した。

◆主催講演会

連続講座VI・特別講演会

連続講座：第1回 7月24日(火)19:00～20:30

「青木恵哉と愛楽園」

講師：森川恭剛氏(琉球大学教授)

第2回 9月18日(火)19:00～20:30

「米軍と沖縄の教会」

講師：一色哲氏(帝京科学大学教授)

特別講演会

6月24日(日)15:00～16:30

「平和をつくる者として～戦争被害者・加害者ふたつの視線で今を見る～」

講師：安海和宣氏(東京ビサイドチャーチ牧師)

◆共催講演会

討論を交えた講演会 8月16日(木)14:00～16:00

「国民主権と天皇」

講師：小林武氏(弁護士)

《信教の自由実行委員会と共催》

沖縄での聖書教育 9月30日(日)14:30～16:00

発題者：運天康正氏、平良修氏、饒平名長秀氏

《沖縄の教会史を学ぶ会と共催》

特別講演会 10月26日(金)19:00～20:30

「パレスチナの現状と世界の課題」

講師：ダニー・ネフセタイ氏

《沖縄YWCAと共催》



信教の自由を守る日集会 2019年2月11日
(月)14:00~15:30

「沖縄と天皇制」～その歴史と代替わり～
講師：小林武氏

《信教の自由実行委員会と共催》

◆活動

第6回9条世界宗教者会議参加

日時：6/13(水)13:00~6/15(金)15:45

場所：広島市、広島平和記念公園、国際会議場

内容：9条世界宗教者会議は12カ国、47団体、187人の参加を得て開催された。

各国からの発題、報告（「海外から見た憲法9条」「アジアから見た憲法9条」「朝鮮半島をめぐる情勢」「沖縄・岩国 軍事基地をめぐる状況」等）があり、沖縄の基地の現状については金井が報告した。

参加者：内間清晴平和総合研究所長、金井創コーディネーター

学生による県外中学の修学旅行ガイド

「沖縄 長崎 広島 から平和を考える学び合い」

8月20日(月)~23日(木)開催

西原町の協力を得て現地研修のためにマイクロバスを提供していただいた。



2019年

◆主催講演会

連続講座VI・特別講演会

第1回 2019年12月7日(土)13:00~14:30

「日本人口の急減少と放射線被曝」

講師：矢ヶ崎克馬氏（元琉球大学教授）

第2回 2020年1月18日(土)14:00~15:30

「平和な空を守る」条例を目指して

講師：小林武氏（当研究所客員研究員）

第3回 2020年3月1日(日)16:00~18:00

「米軍による占領体制の固定化と1950年代における沖縄キリスト教会自立の試み」

講師：一色哲氏（帝京科学大学教授・当研究所客員研究員）

慰霊の日・特別講演会 6月15日(土)14:00~15:30

「インドネシアと沖縄(日本)のキリスト教が交差するところ～民衆史を視野において～」

講師：原誠氏(元同志社大学教授)

研究所設立10周年記念特別講演会 9月7日(土)14:00~16:00

「アフガニスタンに命の水を～干ばつの大地に用水路を拓く～」

講師：中村哲氏（ペシャワール会現地代表）

※2020年3月12日に予定していた連続講座は新型コロナウイルス拡散予防対策のため延期することとした。

◆共催講演会

沖縄の神学講演会

第1回 4月13日(土)14:00~16:00

講師：運天康正牧師(沖縄神学校教授)

第2回 6月8日(土)14:00~16:00

講師：平良修牧師(日本基督教団沖縄教区総会議長)

《沖縄の教会史を学ぶ会と共催》

信教の自由を守る日集会 2020年2月11日

(火)14:00~16:00

「国家・憲法・個人」～憲法改正と私たちの生活～
講師：小林武氏（当研究所客員研究員）

講師：平良修氏（沖縄教区総会議長）

《信教の自由実行委員会と共催》

◆活動 他団体、機関への協力

●東アジア平和センターの沖縄研修(8月14~16日)に協力。

●CENA (Civil Society Education Network in Asia) Summer School in Okinawa

8月26(月)~30日(金)に協力

●学生の学び合いが沖縄県「第1回ちゅらうちなー草の根平和貢献賞」を受賞。12月26日(木)県庁ホールで授賞式があり、内間所長、金井コーディネーター、学生2名で参加した。

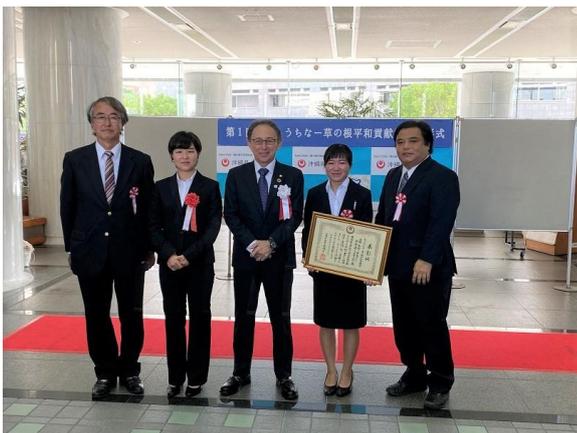
なお、学び合いについてはテレビ放映されることになった。

タイトル ちゅらうちなー草の根平和貢献賞
～受け継がれる平和への思い～

放送局 RBC琉球放送

放送日時 2021年2月23日(火祝)14:50~15:

20



◆学生活動

県外学校の修学旅行ガイド

2019年2月6日(水) 近江兄弟社中学修学旅行ガイド実施。

現地研修

2019年2月26日(火)~3月1日(金) 石垣島研修
学生4名参加

「沖縄 長崎 広島 から平和を考える学び合い」

2019年8月19日(月)~22日(木)開催

西原町の協力を得て現地研修のためにマイクロバスを提供していただいた。

現地研修

石垣島研修 2020年3月17日(火)~20日(金)実施
学生4名参加

◆客員研究員

一色哲氏、小林武氏、矢ヶ崎克馬氏、原誠氏に
客員研究員になっていただいた。

◆刊行

連続講座(IV~VI)、特別講演会の講演録を作成した。
(128ページ・300部)

2020年

◆主催講演会

連続講座

第2回 2020年1月18日(土)14:00~15:30

「平和な空を守る」条例を目指して

講師：小林武氏（当研究所客員研究員）

第3回 2020年3月1日(日)16:00~18:00

「米軍による占領体制の固定化と1950年代における
沖縄キリスト教会自立の試み」

講師：一色哲氏（帝京科学大学教授・当研究所客員研究員）

特別講演会

11月3日(火)

「文化と平和をつくり出す担い手として」～インドネシアの人たちとともに生きる中で～

第1部 民族のアイデンティティの向上のため

第2部 平和はつくり出すもの

講師：塚田真理子氏（ウィクリフ聖書翻訳協会）

トゥグー・トゥリヤント氏

（インドネシア聖書翻訳宣教団体カルティヤダ）

シャローム会館 1-1 教室会場のほか、オンライン
で県内外、ドイツ、インドシナからも参加者あり。

ストーリーシェアリング：

「集団自決」朗読劇

◆学生活動

県外学校の修学旅行ガイド

2020年2月6日(木) 近江兄弟社中学修学旅行ガイド実施。

現地研修

石垣島研修 2020年3月17日(火)～20日(金)実施
学生4名参加

※コロナウィルス感染拡大のため、沖縄慰霊の日特別講演会、学生の学び合い、連続講座は中止せざるを得なかった。

◆共催講演会

信教の自由を守る日集会 2021年2月11日
(木)14:00～16:00

講演：国家の圧力～援護法と沖縄～

講師：石原昌家氏（元沖縄国際大学教授）

《信教の自由委員会と共催》

◆9条世界宗教者会議

第7回9条世界宗教者会議が2020年3月2日
(火)、3日(水) 午後7時から10時

オンラインで開催された。海外とも同時で接続、約
100名が参加した。

テーマ「憲法9条とアジアの平和」

～沖縄からの祈り～

基調講演：小林武氏（研究所客員研究員）

発題：石原絹子氏（聖公会司祭）

発題：鴨下祐一氏（日本山妙法寺僧侶）

